

令和4年5月24日

報道関係者各位

山県市

山県市赤十字奉仕団

ウクライナ人道危機救援金 募金活動報告

5月25日（水） 10時30分～ 市役所公室

山県市赤十字奉仕団（委員長 大沢 登美子）は、ウクライナでの人道危機対応およびウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動を支援するため、ウクライナ人道危機救援金を集めました。このたび、その活動について、日本赤十字社岐阜県支部山県市地区長である山県市長が報告を受けます。

現在、ウクライナ各地で激化している戦闘により、子どもを含む多くの市民が緊張や不安の中過ごしています。このような状況の中、山県市赤十字奉仕団が集めたウクライナ人道危機救援金は、日本赤十字社岐阜県支部を通じて寄附します。

名 称	山県市赤十字奉仕団 ウクライナ人道危機救援金 募金活動報告
場 所	山県市役所 公室 所在地 岐阜県山県市高木1000番地1
日 時	令和4年5月25日（水）10時30分～
主な参加者	日本赤十字社岐阜県支部山県市地区長 林 宏優（山県市長） 山県市赤十字奉仕団委員長 大沢 登美子 山県市赤十字奉仕団事務局（山県市社会福祉協議会担当）

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ】

山県市福祉課 松浦

Tel : 0581-22-6837 Fax : 0581-22-6850

Mail : fukushi@city.gifu-yamagata.lg.jp

《参考資料》

1. 日赤奉仕団ウクライナ人道危機救援金の概要

ウクライナ人道危機救援金



避難してきた人をハグするウクライナ赤十字ボランティア(C)IFRC Marko Kotic

ウクライナ各地で激化している戦闘により、多くの市民が緊張と不安の中で過ごしています。すでに子どもを含む市民の死傷者が報告され、市民生活に不可欠なインフラにも被害が出ています。また、紛争の被害を恐れ、多くの人びとが、周辺国(ポーランド、ルーマニア、スロヴァキア等)に避難しています。

この状況を受け、日本赤十字社は、赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟、各国赤十字社が実施するウクライナでの人道危機対応及びウクライナからの避難民を受け入れる周辺国とその他の国々における救援活動を支援するため、下記のとおり、海外救援金を募集いたします。

皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

受付金額(2022年5月6日時点)
38億8,006万9,878円(53,386件)

支援金額(2022年4月25日時点)
28億円
内訳)赤十字国際委員会 計14億円
国際赤十字・赤新月社連盟 計14億円

[ウクライナの現状について詳しくはこちら](#)

支援準備中(支援ニーズに基づいた日赤の活動内容含む)
10億8,006万9,878円

※金融機関の入金のタイミングによる誤差はご了承ください。

受付期間

2022年3月2日(水)から 2022年9月30日(金)まで

協力方法

ご協力の方法を下記からお選びいただけます。

※受領証の分割発行はいたしかねますのでご了承ください。

(日本赤十字社 HP より抜粋)